

スポーツ・学生・子ども 新たな関わり方を探して

SPORTS COMMUNITY
NO. 1
number one

WILD359ers 小池 智昭



「じょーじー、しんたー、めっつー」土曜日の屋下がり、元気な声と共に子どもたちが続々と集まりだす。これから始まる WILD359ers(ワイルドスリーフィフティナインズ)の活動に参加するためである。初めに断っておきたいのは、冒頭の掛け声は子どもが友達を呼ぶ声ではなく、子どもが私たち学生を呼ぶ声だということである。そして、このやりとりで WILD の大きな側面が象徴されているといっても良い。まずは、私たち「WILD359ers」という組織について簡単に説明したい。

私たち WILD は、所沢市西地区総合型地域スポーツクラブ「WASEDA CLUB2000」のサークルの 1 つとして活動している。この WASEDA CLUB2000 は、所沢市におけるスポーツの振興と地域社会における健康で明るく豊かな生活の実現に貢献することを目的に作られた組織であり、私たちはその子ども向けプログラムとして区分されている。ちなみにメンバーは、参加者約 50 名、スタッフ約 25 名(大部分は早稲田大学スポーツ科学部生)。プログラムの内容としては、年間を通してフラッグフットボールを行うフラッグス、月単位で様々なニュースポーツやマイナースポーツを体験してもらう fun-土、子どもの居場所作り事業の一環として、週に一度多彩な文化活動を行うてらこやの 3 つの活動が軸となっている。その他にも、月に一度苦手体育克服特訓や、参加者のためのクリスマス会などのイベントを行う WARP、年に一度所沢市内の小学生を対象に様々なスポーツを体験してもらうスポーツスクエアというイベントなども開催している。

このように記述すれば多少立派に見えるかもしれないが、基本的にはスタッフである学生がプログラムの企画、運営、指導など全ての役割を受け持つため、未熟な面も多々ある。だからこそ私たちが最も心掛けていることがある。学生の特徴を活動の前面に出していこうということである。他のスポーツクラブと比較して、指導力や組織の完成度で劣る面は少なからずある。その分、学生ならではの +α をプログラムに最大限盛り込んでいこうというのが私たちの考えだ。

次回は、WILD359ers が心掛けている学生ならではの特徵について、紐解いてみたいと思います。お楽しみに !!

ご意見、ご感想などありましたらホームページの掲示板までお寄せください。

http://www.geocities.jp/wild_359ers/index.html

また、体験も随時受け付けておりますので、ご希望の方は wild_359ers@yahoo.co.jp まで